2026年11月1日発行(毎月１回刊・発行)　岐阜農林建設連合支部

建交労 ひかり

２０２６年１１月号
発行：建交労　No.２７２
岐阜農林建設連合支部
〒５０１－４２３４
郡上市八幡町五町1-4-15
電話　0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

神岡じん肺訴訟第3陣　早期和解解決を！

２０２６．１０．２８　三井金属本社前集結集会





長田第3陣原告代表

第三十七回じん肺全国キャラバン東京集結２日目、三井金属本社前にて、声を上げてきました。

要請代表団は本社内において会社側担当者と会談。原告が健康を害し、一人一人と亡くなっている現状を伝えました。会社側は何も答えようとせず、ただ話を聞きとどめるだけという態度に終始しました。

こうした会社側態度に要請側から大企業としての社会的責任と人命尊重の重要性を説き、一刻も早い和解を繰り返し要請しました。

キャラバン要請行動

①【岐阜県】

岐阜県要請では県本部山田委員長を筆頭に神岡じん肺訴訟原告団の代表、他組合員が参加しました。岐阜県労連、日本国民救援会、三井金属神岡鉱山じん肺弁護団、福井労職支部、愛知労職支部からの応援をえて、総勢十七名での交渉となりました。組合側から「一元管理システム」、および「アスベスト調査台帳の整備」の必要性を改めて説明し県側に要請しました。県側から「一元管理システム」について、「現在県発注のトンネル工事が一件あり事業所は登録済みであるが、個々の労働者は把握できていない。」と発言がありました。これに組合側は「システムの趣旨は事業所だけでなく、個々の労働者の就労履歴も一元管理することにある」として、県に従事者の登録状況を確認し、登録率100％を目指すよう要望。県側も必要に応じた確認を進めると回答しました。

また、神岡じん肺訴訟に関し、被告企業に早期解決をうながすよう要望しました。県側は、要請内容を企業に伝えるとし、前年に連絡した際、先方から「飛騨市からも話は聞いている」との反応があったことにも触れ、伝えることが重要であることを改めて認識したとの回答がありました。

②【岐阜労働局】

労働局要請では四月に改訂された「じん肺ハンドブック」に関し、被災者救済を妨げる曖昧な検査条件を基準に持ち込まないよう求め、問題点を地方じん肺診査医にも共有するよう依頼しました。これに局側は「新たなハンドブックの運用通達が出ていない。新たなハンドブックを各監督署、じん肺診査医に配布した。」と回答しました。

③【高山市・飛騨市】

神岡じん肺訴訟第3陣の現状を説明し、早期解決を行政の立場から図るよう要請しました。飛騨市からは今年も神岡鉱業に要請の内容を伝え、また本社にも伝わるように配慮したいとの回答を得ました。高山市は回答当初、立場上、民事に介入できないとしていました。しかし、岐阜県、飛騨市が被告企業に要請について伝えている動きを説明したところ、対応を検討するとの返答がありました。

④【岐阜市・羽島市】

アスベスト建築物台帳の整備について説明を求めたところ、岐阜市では「3,000㎡以上の建築物については台帳整備がほぼ完了していると回答しました。一方、羽島市他自治体においては、整備は完了しておらず、県と情報共有を進めたいとの回答でした。

⑤【多治見市・土岐市・瑞浪市】

地域医療体制について多治見市は、県立多治見病院を中心とした医療体制、高齢者への提供体制の維持を課題としてあげました。また、土岐市と瑞浪市から、統合され誕生した「公立東濃中部医療センター」が基幹的な役割を担えるよう、周辺地域との連携をとり、利便性を拡張していくとの計画の説明がありました。

じん肺キャラバン　フォトギャラリー



10月８日
岐阜県要請団



10月14日
高山市要請団



10月21日
多治見市要請団

２０２６年１０月の活動経過

10／１　トンネルじん肺根絶８陣訴訟　弁論　＠福井地方裁判所
10／７　神岡じん肺訴訟　第３陣弁論　＠岐阜地方裁判所
10／８　なくせじん肺キャラバン　＠岐阜県労働局、岐阜県
10／13　なくせじん肺キャラバン　＠静岡県労働局、静岡県
10／14　なくせじん肺キャラバン　＠愛知県労働局、高山、飛騨
10／15　なくせじん肺キャラバン　＠岐阜市、羽島市
10／21　なくせじん肺キャラバン　＠多治見、土岐、瑞穂市
10／25　建交労岐阜県本部　定期大会　＠大洞虹の家
10／27～28　なくせじん肺キャラバン東京行動

２０２６年１１月の活動予定

11／５　なくせじん肺キャラバン：福井　＠福井労働局
11／10　新規検査　難聴　＠はやし耳鼻咽喉科
11／11　執行委員会　＠組合事務所
11／13　アスベスト電話相談　＠建交労　愛知県本部
11／19　尾形行政取消訴訟　WEB　※傍聴はできません
11／20　岐阜農林建設連合支部第２７回定期大会　＠郡上市文化センター
11／24～25　トンネルじん肺根絶訴訟　東京行動＆弁論
11／25　トンネルじん肺根絶訴訟　第８陣弁論　＠福井地方裁判所
９／26　国民救援会総会　＠すこやか診療所

訃報

大嶽茂さんがじん肺でお亡くなりになられました。つつしんで御冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

じん肺キャラバンの東京行動に今年初めて参加してきました。官庁街をシュプレッヒコールしながら練り歩いているとき、銀杏並木の立ち並ぶ通りに差し掛かりました。道路の表面が覆いつくされるほどの銀杏の実が散乱しており、先頭を歩いていた私たちは一瞬躊躇したものの、先導車は非情にも進んでいき、後続の行進は列をなしておられる。顔を見合わせ、覚悟を決めて、いざ、銀杏の海の中へ足を踏み入れました。足元の銀杏の実を踏みつぶしているとき、ふと、兼山さんと宇野さんの会話が頭をよぎりました。「熊は銀杏の実を食べるんよ。でも、固い中身は食べずに外の皮だけね。」そうか。熊が食べるなら東京から岐阜に持って帰って食べさせてあげたい。熊被害が減るかも。そんな、しょうもないことを考えていたら、いつの間にかデモ行進は議場前に着いていました。

議場では、じん肺要請に応じてくれた国会議員の方々が待っていてくれました。その事実にも驚きましたが、その場で、手渡しで、私たちが集めた『じん肺署名』を受け取って下さったのには、もっと驚きました。事務的な受け渡しを想像していた私は、その場面に少し感動しました。靴の裏には銀杏の匂いが残りましたが、参加できてよかったです。

編集　山田